

映画

3回の休憩、食事時間もあり?! 7時間23分の異色映画の見方

(C)ダカーボ

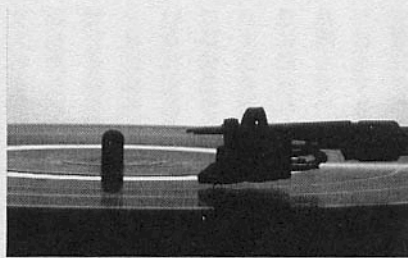
代表作『EUREKA (ユリイカ)』などで知られる青山真治監督が超スケールの新作映画を発表する。7時間23分の長編ドキュメンタリー『A』だ。

「いわゆる真実を追求するよう

なドキュメンタリーとは一線を画す」(青山監督)という本作に登場するのは12人の語り部たち。70年代を駆け抜け、32歳で夭逝した音楽評論家・間章あいだあきの軌跡を、彼を知る音楽家や批評家

の証言から描き出す。資料映像を用いず、不在の人物に迫ろうとする試みは完成までに約5年を費やした。

上映は1日1回、午後1時に始まり終了は夜9時過ぎ。3回の休憩が入るとはいえ、さすがに身構えてしまうほどの長さだが、「見始めたら意外にのめり込める作品」と関係者は話す。挑戦してみる?



12/12(火)~21(木)(17日休映) アテネ・フランス (☎03-3291-4339) 他にて上映。当日3000円